

項目名：県立高等学校の通信制・定時制に求められる学習ニーズへの対応

2022年10月25日
教育委員会事務局
(学習教育部・高等学校教育課)

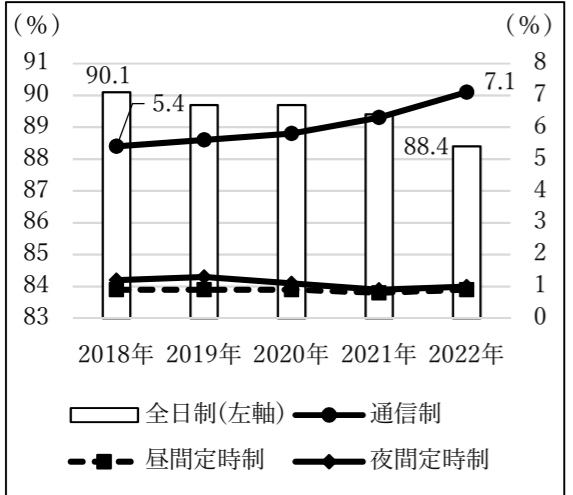
1. テーマ選定

- 近年、通信制・定時制課程は、働きながら学ぶことを前提とする勤労青年のための学びの場から、不登校や中途退学の実験者、外国にルーツをもつ生徒など、多様な学習ニーズをもつ生徒の学びの場に変容している。
- 多様化・複雑化する生徒の抱える課題に対応していくため、地域社会や企業との連携・協働、専門的知識やスキルを有する外部人材の活用や個々の生徒の抱える事情に応じたきめ細かな支援など、新しい時代に対応した在り方を検討すべきである。

2. 現状把握

- 愛知県では、全日制への進学者が減少している一方で、通信制への進学者が増加傾向にあり、特に広域通信制の人気の高い。定時制への進学者については、夜間・昼間定時制ともに大きな変化はない。(グラフ1)
- 中学校における不登校生徒数は増加しており、通信制課程・定時制課程の入学者にはこうした生徒が多い。また、日本語指導が必要な外国とつながりのある生徒も増加しており、特に定時制に入学する者が多い。(グラフ2、表1、表2)

グラフ1 県内中学生の進路実績の推移(%)



グラフ2 中学校における不登校生徒数等

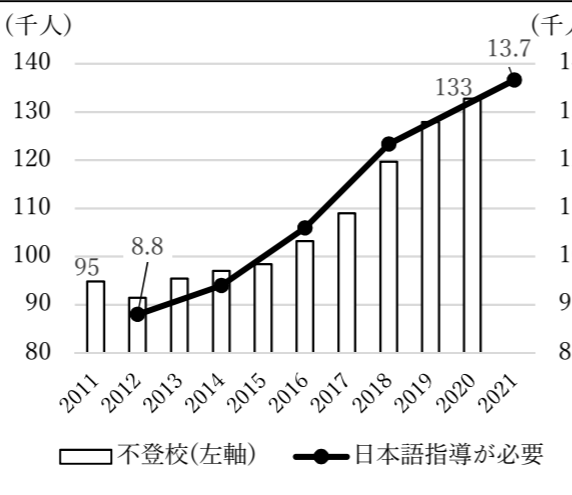


表1 生徒の実態等(2017年度全国調査)

区分	通信制		定時制
	広域	狭域	
小中学校及び前籍校で不登校経験がある	66.7%	48.9%	39.1%
外国とつながりがある(外国籍・母語が日本語以外)	2.4%	2.8%	6.6%

「広域通信制」：3以上の都道府県で生徒募集を行う通信制。
「狭域通信制」：広域ではない通信制。本県の県立通信制高校はこれに該当。

表2 県立高校で通訳による母語支援を受けている生徒数

課程	年度	
	2013	2022
全日制	54人	254人
定時制	150人	614人
通信制	0人	0人

- 中途退学率は減少傾向にあるが、通信制・定時制では、全日制と比較して、在籍途中で学習を中断する者の割合が相当高い。(表3)

表3 県立高校の中途退学率の推移

課程	年度	
	2011	2020
全日制	1.1%	0.5%
定時制	14.1%	8.3%

※通信制では、年度当初に行われる履修登録をする者は在籍者の7割程度。複数年にわたり登録をしないと除籍となる。

3. 目標設定

- 外部専門機関と連携するなどして、生徒の支援を充実し、教員のマンパワーを本来あるべき学習指導に注げる体制を強化する。
- 通信制・定時制教育の課題への対応について来年度以降取り組む具体策を検討し、学校の適正な配置や教育活動の充実を図る。

4. 要因解析

○各課程には、学習の継続という共通の課題と各課程固有の課題がある。

主な課題	通信制	定時制	生徒の支援
	自宅で取り組んだレポートを郵送でやりとりする添削指導や、日曜日に登校して行う面接指導を基本にして指導を進めているが、学び直しが必要で自学できない生徒や生活リズムが不規則で登校できない生徒への対応も必要。	生徒の希望により、学ぶ時間帯や一日の授業時間数などを選択できるよう、県内各地域にバランスよく配置する必要がある。	不登校生徒への教育相談や外国人生徒と意思疎通を図るための支援など、外部専門機関との連携など、支援体制を抜本的に強化する必要がある。

○人気の高い広域通信制の特徴を参考としたり、NPOなどの外部資源を積極的に活用することで、多様化・複雑化する生徒の課題に効率的に対応する。

広域通信制の特徴
生徒が通学日数や通学する時間帯を選択できる。
サテライト施設の複数設置や交通至便な立地など、登校しやすさに配慮している。
平日の学習支援やICT環境が充実している。

5. 対策立案

- 【通信制】
- 増加する入学及びスクーリング等の平日実施のため、単独校舎を有する学校として移転する。
 - 県内どの地域からも進学しやすくするため、交通至便な場所に複数のサテライト校を設置する。
 - スクーリング等に通えない生徒が進学しやすくするため、ICTによる遠隔教育を行う。
- 【定時制】
- 全日制に併設した小規模の昼間定時制を各地域にバランスよく設置する。
 - 夜間定時制や全日制の学校を昼間定時制に改編する。
 - 昼間定時制と夜間定時制の融合を進め、夜間以外の時間帯にも学べる学校とする。
 - 県内のどの地域からも進学しやすくするため、各地域の交通至便な場所に学校を配置する。
- 【生徒への支援】
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの拡充など、相談体制を充実する。
 - 外部機関と連携して母語による支援や日本語教育を充実する。

6. 今後の進め方

今年度、学校関係者を委員とする「高等学校再編将来構想具体化検討委員会」において、新しい時代に対応した定時制・通信制教育についてのまとめを策定する。来年度以降、具体的な計画を随時作成、公表し、計画を推進する。なお、計画の推進に当たっては、施策の目標や教育効果を定量的に示すことについても検討する。

2022年度	2023年度	2024年度以降
○今後の在り方を議論 ○まとめを策定	○まとめを踏まえ、魅力化・特色化、再編の具体を公表	○再編の具体を実施 ○引き続き具体を検討

1 在学中の生徒の就業状況の変化

【令和の日本型学校教育の構築を目指して(答申参考資料)】

(1) 通信制課程

単位：%

		正社員	パート等	無職	その他※
1982年		62.3	6.5	32.2	-
1994年		29.3	24.3	46.4	-
2016年	狭域	8.3	37.0	52.5	2.3
	広域	6.3	23.4	68.2	2.0

(2) 定時制課程

単位：%

		正社員	パート等	無職	その他※
1982年		68.4	14.3	17.3	-
1994年		34.7	35.2	30.1	-
2016年		2.2	46.2	50.8	0.8

※ 契約、派遣、自営

2 県内中学生の進路実績の推移

【進学状況等調査(各年度5月1日時点)】

単位：人

募集年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
区分		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
全日制 (高専含む)	公立	43,071	60.3%	42,041	59.9%	41,273	59.2%	38,831	57.6%	39,456	56.7%
	私立	20,721	29.0%	20,339	29.0%	20,647	29.6%	20,921	31.0%	21,603	31.0%
	国立	335	0.5%	319	0.5%	331	0.5%	245	0.4%	240	0.3%
	小計	64,127	89.8%	62,699	89.3%	62,251	89.3%	59,997	89.0%	61,299	88.0%
	高等専門学校	232	0.3%	251	0.4%	244	0.4%	246	0.4%	270	0.4%
	小計	64,359	90.1%	62,950	89.7%	62,495	89.7%	60,243	89.4%	61,569	88.4%
定時制	昼間定時制	640	0.9%	627	0.9%	651	0.9%	546	0.8%	604	0.9%
	夜間定時制	835	1.2%	903	1.3%	753	1.1%	624	0.9%	727	1.0%
	小計	1,475	2.1%	1,530	2.2%	1,404	2.0%	1,170	1.7%	1,331	1.9%
通信制	狭域通信制	272	0.4%	296	0.4%	282	0.4%	309	0.5%	402	0.6%
	広域通信制	977	1.4%	1,154	1.6%	1,375	1.9%	1,619	2.4%	2,188	3.1%
	専修学校等併修	2,594	3.6%	2,506	3.6%	2,413	3.5%	2,324	3.4%	2,370	3.4%
※1	小計	3,843	5.4%	3,956	5.6%	4,070	5.8%	4,252	6.3%	4,960	7.1%
	その他 ※2	1,750	2.4%	1,761	2.5%	1,709	2.5%	1,753	2.6%	1,824	2.6%
中学校卒業生数		71,427	100.0%	70,197	100.0%	69,678	100.0%	67,418	100.0%	69,684	100.0%

※1 「通信制」の内訳は、県教育委員会の独自調査に基づくため、公表していない。

※2 「その他」の内訳は、専修学校(通信併修除く)、特別支援学校高等部、就職等である。

3 不登校児童生徒数の推移

【令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査】

年度	小学校				中学校			
	在籍数 (人)	不登校 (人)	割合 (%)	増減率 (%)	在籍数 (人)	不登校 (人)	割合 (%)	増減率 (%)
1991	9,157,429	12,645	0.14	***	5,188,314	54,172	1.04	***
1996	8,105,629	19,498	0.24	17.7	4,527,400	74,853	1.65	15.1
2001	7,296,920	26,511	0.36	0.5	3,991,911	112,211	2.81	4.0
2006	7,187,417	23,825	0.33	4.9	3,609,306	103,069	2.86	3.5
2011	6,887,292	22,622	0.33	0.7	3,589,774	94,836	2.64	▲ 2.7
2012	6,764,619	21,243	0.31	▲ 6.1	3,569,010	91,446	2.56	▲ 3.6
2013	6,676,920	24,175	0.36	13.8	3,552,455	95,442	2.69	4.4
2014	6,600,006	25,864	0.39	7.0	3,520,730	97,033	2.76	1.7
2015	6,543,104	27,583	0.42	6.6	3,481,839	98,408	2.83	1.4
2016	6,491,834	30,448	0.47	10.4	3,426,962	103,235	3.01	4.9
2017	6,463,416	35,032	0.54	15.1	3,357,435	108,999	3.25	5.6
2018	6,451,187	44,841	0.70	28.0	3,279,186	119,687	3.65	9.8
2019	6,395,842	53,350	0.83	19.0	3,248,093	127,922	3.94	6.9
2020	6,333,716	63,350	1.00	18.7	3,244,958	132,777	4.09	3.8

(注1) 調査対象：国公立小・中学校

(注2) 長期欠席者のうち、不登校を理由とする者について調査。不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者(ただし、病気や経済的理由、新型コロナウイルスの感染回避によるものを除く。)をいう。なお、長期欠席者は、令和元年度調査までは年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒、令和2年度調査においては、「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒について調査。

4 日本語指導が必要な児童生徒数

【令和3年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(速報値)】

単位：人

年度	小学校			中学校			高校		
	日本国籍	外国籍	合計	日本国籍	外国籍	合計	日本国籍	外国籍	合計
2008	3,593	19,504	23,097	1,072	7,576	8,648	197	1,365	1,562
2010	3,956	18,365	22,321	1,257	8,012	9,269	244	1,980	2,224
2012	4,609	17,154	21,763	1,240	7,558	8,798	273	2,137	2,410
2014	5,899	18,884	24,783	1,586	7,809	9,395	332	2,272	2,604
2016	7,250	22,156	29,406	1,803	8,792	10,595	457	2,915	3,372
2018	7,669	26,316	33,985	2,071	10,260	12,331	495	3,677	4,172
2021	7,546	31,191	38,737	2,376	11,283	13,659	514	4,295	4,809

1 概要

(1) 定時制課程

- ア 修業年限 3年以上（一般的には4年）
- イ 学習形態
 - ・1日の授業は4時間で、1週間に平均20時間の授業を行う。
 - ・ホームルーム活動、生徒会活動、部活動や、遠足、修学旅行、オリエンテーション、学校祭、球技大会等の学校行事も行う。

ウ 日課表

○夜間定時制課程（例）

第1限	17:20～18:05
給食	18:05～18:25
S T	18:25～18:30
第2限	18:30～19:15
第3限	19:20～20:05
第4限	20:10～20:55

○昼間定時制課程（例）

S T	9:00～9:10	10:50～11:00
第1限	9:10～9:55	11:00～11:45
第2限	10:05～10:50	11:55～12:40
第3限	11:00～11:45	13:20～14:05
第4限	11:55～12:40	14:15～15:00
清掃・S T	12:40～13:00	15:00～15:20

エ 学費等

- ・入学金 2,100円
- ・授業料 14単位まで 22,800円
- 15単位以上19単位まで 27,600円
- 20単位以上 32,400円
- ・その他 学校徴収金（教材費、修学旅行の積立金、PTA会費等）

(2) 通信制課程

- ア 修業年限 3年以上（一般的には4年）
- イ 学習形態
 - ・自学自習が中心。報告課題（レポート）の添削指導を受け、面接指導（スクーリング）に出席し、試験を受けることによって単位を修得する。
 - ※面接指導は、主として日曜日に月2～3回実施される。
 - ・1年間に平均して7科目程度の学習ができる。
 - ・学校が定めた卒業に必要な単位数を修得し、ホームルーム活動・学校行事等の特別活動へ一定時間参加することによって卒業が認められる。

ウ 学費等

- ・入学金 500円
- ・授業料 1単位につき 336円
- ・その他 学校徴収金（教材費、修学旅行の積立金、PTA会費等）
- ※面接指導の通学にJR・名鉄を利用する場合には、回数券の割引がある。

※ 就学支援制度（定時制・通信制）

- 教科書無償給与：年間180日以上就労する者（平成20年度改正）
- 修学資金：経済的理由により修学が著しく困難であること、経常的收入を得る職業についていること、愛知県高等学校等奨学金の貸与を受けていないことを条件に、月額14,000円を貸与。

2 定時制・通信制課程設置校

区分	普通科	工業科	商業科
夜間定時制 （学年制）	旭丘、明和、瑞陵、名古屋西、熱田、春日井、犬山、古知野、小牧、一宮、津島、横須賀、大府、豊田西、岡崎、碧南、安城、一色、蒲郡、 （名古屋市立中央）	名古屋工科（機械）、豊田工科（機械）、岡崎工科（機械）、刈谷東（機械）、豊橋工科（機械）、 （名古屋市立工業（工業技術））	瀬戸工科（総合ビジネス）、半田商業（総合ビジネス）、 （名古屋市立中央（商業））
夜間定時制 （単位制）	（豊橋市立豊橋）	城北つばさ （ものづくり）	豊橋市立豊橋 （総合ビジネス）
昼間定時制 （単位制）	城北つばさ、一宮起工科、刈谷東、 （豊橋市立豊橋、名古屋市立中央）		
通信制 （単位制）	旭陵、刈谷東		

3 定時制・通信制の入学者について

(1) 定時制課程入学者選抜結果（県立＋市立）

夜間定時制課程

年度	30	31	2	3	4
募集人員	1,320	1,320	1,280	1,280	1,240
合格者数	986	979	914	731	835
充足率	74.7%	74.2%	71.4%	57.1%	67.3%

昼間定時制課程

年度	30	31	2	3	4
募集人員	720	720	720	720	720
合格者数	701	717	719	626	689
充足率	97.4%	99.6%	99.9%	86.9%	95.7%

(2) 通信制課程の入学生徒数の推移

県立旭陵高等学校

年度	30	31	2	3	4	
生	新入学	132	142	126	145	224
	編入学	42	31	38	37	59
徒	転入学	77	102	79	135	157
	特科	16	16	19	20	28
数	併修	38	41	37	44	49
	計	305	332	299	381	517

県立刈谷東高等学校

年度	30	31	2	3	4	
生	新入学	144	105	107	106	162
	編入学	27	22	35	21	25
徒	転入学	43	39	45	33	48
	特科	47	50	42	36	33
数	併修	22	27	17	9	3
	計	283	243	246	205	271